

高知市行政評価制度の手引き

～限られた経費で最大の効果を目指して～

【政策・施策評価】

平成 27 年 10 月

高知市

目 次

I 政策・施策評価の実施について

1	平成 27 年度実施の政策・施策評価	1
2	政策・施策評価のスケジュール	2

II 政策・施策評価調書の作成

1	政策・施策評価調書様式	3
2	基本事項	5
3	政策の基本方針と市民評価結果	6
4	政策の取組方針（目的・目標）と実績把握	7
5	施策の課題と 1 次評価	8
6	外部意見	10
7	行政改革推進本部会による 2 次評価（最終評価）	10

I 政策・施策評価の実施について

1 平成 27 年度実施の政策・施策評価

(1) 目的

2011 高知市総合計画の骨格を成す政策・施策体系について、総合計画に記載された本市のまちづくりの理念，方向性に基づく方策，手法が市民ニーズに応えたものか等について検証を行い，総合計画の基本計画の見直しに反映させる。

(2) 評価対象

2011 高知市総合計画の政策（31 項目）につらなる施策（96 項目）

(3) 評価調書の作成単位

施策を単位として調書を作成。1 つの施策内で第 2 次実施計画の施策の数値目標等が複数の部局にまたがっている場合は，それぞれの部局で該当の施策に係る評価を実施する。

(4) 評価調書の作成者及び 1 次評価

評価調書は，各部局で施策を把握している副部長名で作成する。

1 次評価は，施策所管部長が実施する。

1 次評価の結果は，総合計画策定推進委員会の計画素案検討へ反映させる。

(5) 外部意見及び 2 次評価

1 次評価後，高知市行政改革推進委員会及び高知市議会へ報告し，ご意見をいただく。

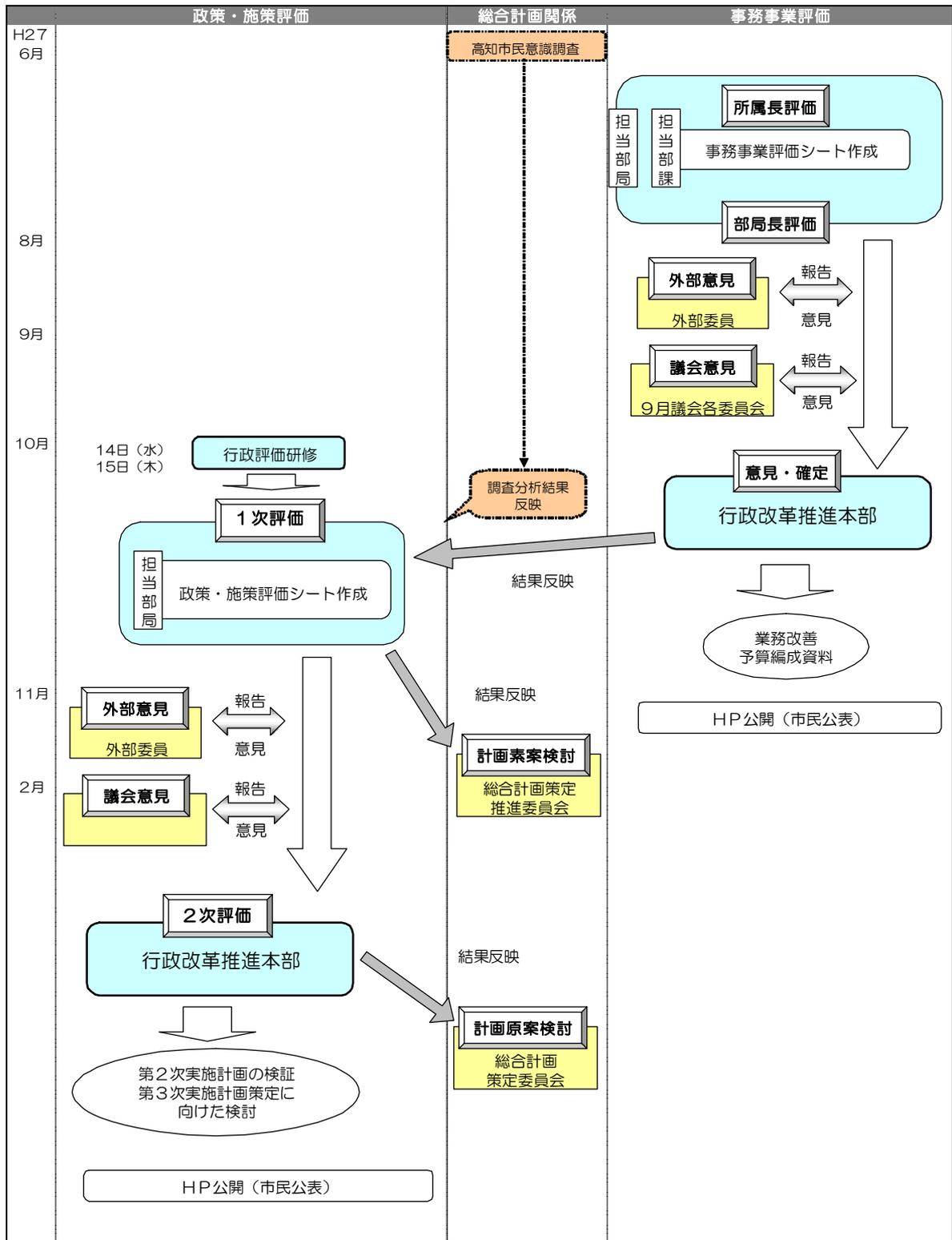
2 次評価は，いただいた意見を踏まえ，行政改革推進本部会が行う。

2 次評価の結果は，総合計画策定委員会の計画原案検討，第 2 次実施計画の検証及び第 3 次実施計画の策定に向けた検討資料とする。

(6) ホームページ公開（市民公表）

2 次評価後，評価調書を高知市ホームページで公開する。

2 行政評価のスケジュール



II 政策・施策評価調書の作成

1 政策・施策評価調書様式

平成27年度 政策・施策評価調書

総合計画体系	大綱名	01	共生の環	政策名	01	自然の理解と共生の環境づくり
	施策名	01	環境学習の推進			
1次評価	施策所管部				部長名	
	施策関係課				副部長名	

政策の基本方針と市民評価結果

1 政策基本方針 自然と人の共生に向けて、豊かな自然環境を守り、将来へと引き継いでいくためには、市民がさまざまな機会を通じて自然を理解し、環境について学習していくことが大切です。特に、次代を担う子どもたちへの環境教育は極めて重要な意義を有しています。 市民が自然のしくみを知り、理解を深めていくことができるように、森・里・海をつなぐ環境軸である清流・鏡川を中心として、子どもから高齢者まであらゆる世代に対する環境学習や自然体験の機会創出に取り組んでいきます。また、野生の鳥獣や昆虫、水生生物、植物などの生態系の保全を図ります。		3 市民意識調査結果 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">調査結果</th> <th colspan="3">現在の満足度</th> <th colspan="3">今後の重要性</th> </tr> <tr> <th>23</th> <th>25</th> <th>27</th> <th>23</th> <th>25</th> <th>27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平均</td> <td>4.21</td> <td>4.27</td> <td>4.41</td> <td>5.77</td> <td>5.68</td> <td>5.70</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">性別</td> <td>男性</td> <td>4.19</td> <td>4.18</td> <td>4.36</td> <td>5.77</td> <td>5.67</td> <td>5.70</td> </tr> <tr> <td>女性</td> <td>4.22</td> <td>4.33</td> <td>4.45</td> <td>5.77</td> <td>5.69</td> <td>5.71</td> </tr> <tr> <td rowspan="7">年齢</td> <td>20～29歳</td> <td>4.41</td> <td>4.50</td> <td>4.74</td> <td>5.84</td> <td>5.77</td> <td>5.97</td> </tr> <tr> <td>30～39歳</td> <td>4.36</td> <td>4.30</td> <td>4.38</td> <td>5.76</td> <td>5.71</td> <td>5.53</td> </tr> <tr> <td>40～49歳</td> <td>4.10</td> <td>4.27</td> <td>4.48</td> <td>5.79</td> <td>5.66</td> <td>5.69</td> </tr> <tr> <td>50～59歳</td> <td>3.91</td> <td>4.06</td> <td>4.28</td> <td>5.80</td> <td>5.70</td> <td>5.75</td> </tr> <tr> <td>60～64歳</td> <td>4.11</td> <td>4.13</td> <td>4.15</td> <td>5.71</td> <td>5.71</td> <td>5.73</td> </tr> <tr> <td>65～69歳</td> <td>4.21</td> <td>4.12</td> <td>4.30</td> <td>5.69</td> <td>5.55</td> <td>5.56</td> </tr> <tr> <td>70～74歳</td> <td>4.40</td> <td>4.40</td> <td>4.48</td> <td>5.86</td> <td>5.62</td> <td>5.76</td> </tr> <tr> <td>75歳以上</td> <td>4.45</td> <td>4.51</td> <td>4.60</td> <td>5.76</td> <td>5.73</td> <td>5.73</td> </tr> </tbody> </table>						調査結果	現在の満足度			今後の重要性			23	25	27	23	25	27	平均	4.21	4.27	4.41	5.77	5.68	5.70	性別	男性	4.19	4.18	4.36	5.77	5.67	5.70	女性	4.22	4.33	4.45	5.77	5.69	5.71	年齢	20～29歳	4.41	4.50	4.74	5.84	5.77	5.97	30～39歳	4.36	4.30	4.38	5.76	5.71	5.53	40～49歳	4.10	4.27	4.48	5.79	5.66	5.69	50～59歳	3.91	4.06	4.28	5.80	5.70	5.75	60～64歳	4.11	4.13	4.15	5.71	5.71	5.73	65～69歳	4.21	4.12	4.30	5.69	5.55	5.56	70～74歳	4.40	4.40	4.48	5.86	5.62	5.76	75歳以上	4.45	4.51	4.60	5.76	5.73	5.73
調査結果	現在の満足度			今後の重要性																																																																																															
	23	25	27	23	25	27																																																																																													
平均	4.21	4.27	4.41	5.77	5.68	5.70																																																																																													
性別	男性	4.19	4.18	4.36	5.77	5.67	5.70																																																																																												
	女性	4.22	4.33	4.45	5.77	5.69	5.71																																																																																												
年齢	20～29歳	4.41	4.50	4.74	5.84	5.77	5.97																																																																																												
	30～39歳	4.36	4.30	4.38	5.76	5.71	5.53																																																																																												
	40～49歳	4.10	4.27	4.48	5.79	5.66	5.69																																																																																												
	50～59歳	3.91	4.06	4.28	5.80	5.70	5.75																																																																																												
	60～64歳	4.11	4.13	4.15	5.71	5.71	5.73																																																																																												
	65～69歳	4.21	4.12	4.30	5.69	5.55	5.56																																																																																												
	70～74歳	4.40	4.40	4.48	5.86	5.62	5.76																																																																																												
75歳以上	4.45	4.51	4.60	5.76	5.73	5.73																																																																																													
2 市民意識調査項目 <table border="1"> <tr> <td>調査項目</td> <td>01</td> <td>自然の理解と共生の環境づくり</td> </tr> <tr> <td>調査項目</td> <td></td> <td>清流・鏡川を中心とした環境学習や自然体験の機会づくり、野生の鳥獣などの生態系の保全</td> </tr> </table>		調査項目	01	自然の理解と共生の環境づくり	調査項目		清流・鏡川を中心とした環境学習や自然体験の機会づくり、野生の鳥獣などの生態系の保全	※満足度：「満足」から「不満」まで（5段階）の回答に応じて8～0点を設定 ※重要性：「高い」から「低い」まで（5段階）の回答に応じて8～0点を設定																																																																																											
調査項目	01	自然の理解と共生の環境づくり																																																																																																	
調査項目		清流・鏡川を中心とした環境学習や自然体験の機会づくり、野生の鳥獣などの生態系の保全																																																																																																	

施策の取組方針（目的・目標）と実績把握

4 施策取組方針・目的						
施策名	環境学習の推進					
取組方針	市民が自然のしくみを知り、自然環境に関する知識や理解を深めることができるように、関係機関と連携しながら環境教育や環境学習を推進するとともに、環境問題の広報・啓発に努めます。 また、川遊びや森遊びなどを通じて自然に触れることのできる空間づくりや、地域で産する旬の食材の活用などにより、市民が地域の自然の良さを知る機会を拡大し、自然と文化を守り育てる機運の醸成に努めます。					
目的	対象	誰(何)を対象にしているのか	意図	対象をどのような状態にしているのか		

5 総合計画・第2次実施計画の主な数値目標（意図する状態にしていくための指標）

指標名	単位	24年度 (現状)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (目標) (見込)	達成率

施策の課題と1次評価

6 施策の現状の課題認識と解決の方策

課 題	解決の方策

7 施策所管部局長による1次評価

評 価	評価の理由
A：従来の取組を維持し、施策成果を維持する	
B：従来の取組を強化し、施策成果を向上させる	
C：従来の取組を見直し、施策成果を向上させる	
D：施策自体を見直す	

外部意見

8 外部意見

--

2次評価（最終評価）

9 行政改革推進本部会による2次評価（最終評価）

評 価	評価結果の理由・コメント及び基本計画への反映・申し送り事項
A：従来の取組を維持し、施策成果を維持する	
B：従来の取組を強化し、施策成果を向上させる	
C：従来の取組を見直し、施策成果を向上させる	
D：施策自体を見直す	

次ページから具体的な政策・施策評価調書の記入方法について、項目ごとに説明していきます。

2 基本事項

平成27年度 政策・施策評価調書

総合 計画 体系	大綱名	01	共生の環	政策名	01	自然の理解と共生の環境づくり
	施策名	01	環境学習の推進			
1次 評価	施策所管部				部長名	
	施策関係課				副部長名	

大綱名 第2次実施計画を参照し、評価対象となる施策の「大綱」「政策」「施策」の番号を選択してください。番号を選択すると自動で名称が表示されます。

政策名

施策名

施策所管部 1次評価を行う施策所管部局の名称を記入してください。

部長名 部局長の名称を記入してください。
部局長は、1次評価の評価者となります。

副部長名 副部局長の名称を記入してください。
副部局長は、評価調書の作成者となります。

施策関係課 第2次実施計画に記載されている個別事業の所管課名を、施策所管部のものについて全て記入してください。

3 政策の基本方針と市民評価結果

政策の基本方針と市民評価結果								
1 政策基本方針		3 市民意識調査結果						
<p>自然と人の共生に向けて、豊かな自然環境を守り、将来へと引き継いでいくためには、市民がさまざまな機会を通じて自然を理解し、環境について学習していくことが大切です。特に、次代を担う子どもたちへの環境教育は極めて重要な意義を有しています。</p> <p>市民が自然のしくみを知り、理解を深めていくことができるように、森・里・海をつなぐ環境軸である清流・鏡川を中心として、子どもから高齢者まであらゆる世代に対する環境学習や自然体験の機会創出に取り組んでいきます。また、野生の鳥獣や昆虫、水生生物、植物などの生態系の保全を図ります。</p>		現在の満足度		今後の重要性				
		調査結果	23	25	27	23	25	27
		平均	4.21	4.27	4.41	5.77	5.68	5.70
性別	男性	4.19	4.18	4.36	5.77	5.67	5.70	
	女性	4.22	4.33	4.45	5.77	5.69	5.71	
年齢	20～29歳	4.41	4.50	4.74	5.84	5.77	5.97	
	30～39歳	4.36	4.30	4.38	5.76	5.71	5.53	
	40～49歳	4.10	4.27	4.48	5.79	5.66	5.69	
	50～59歳	3.91	4.06	4.28	5.80	5.70	5.75	
	60～64歳	4.11	4.13	4.15	5.71	5.71	5.73	
	65～69歳	4.21	4.12	4.30	5.69	5.55	5.56	
	70～74歳	4.40	4.40	4.48	5.86	5.62	5.76	
75歳以上	4.45	4.51	4.60	5.76	5.73	5.73		
2 市民意識調査項目		<small>※満足度：「満足」から「不満」まで（5段階）の回答に応じて8～0点を設定 ※重要性：「高い」から「低い」まで（5段階）の回答に応じて8～0点を設定</small>						
調査項目	01 自然の理解と共生の環境づくり							
調査項目	清流・鏡川を中心とした環境学習や自然体験の機会づくり、野生の鳥獣などの生態系の保全							

(1) 政策基本方針

2011 高知市総合計画で示されている政策基本方針です。基本事項で政策番号を選択すると自動で表示されます。

(2) 市民意識調査項目

平成 27 年度高知市民意識調査の調査項目です。基本事項で政策番号を選択すると自動で表示されます。

(3) 市民意識調査結果

平成 23 年度、平成 25 年度、平成 27 年度の高知市民意識調査結果です。政策に対する「現在の満足度」と「今後の重要性」を指数化した数値が、基本事項で政策番号を選択すると自動で表示されます。

4 施策の取組方針（目的・目標）と実績把握

施策の取組方針（目的・目標）と実績把握							
4 施策取組方針・目的							
施策名	環境学習の推進						
取組方針	市民が自然のしくみを知り、自然環境に関する知識や理解を深めることができるように、関係機関と連携しながら環境教育や環境学習を推進するとともに、環境問題の広報・啓発に努めます。 また、川遊びや森遊びなどを通じて自然に触れることのできる空間づくりや、地域で産する旬の食材の活用などにより、市民が地域の自然の良さを知る機会を拡大し、自然と文化を守り育てる機運の醸成に努めます。						
目的	対象	誰(何)を対象にしているのか		意図	対象をどのような状態にしていくのか		
5 総合計画・第2次実施計画の主な数値目標（意図する状態にしていくための指標）							
指標名	単位	24年度 (現状)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (目標 (見込)	達成率

(1) 施策取組方針・目的

施策名 2011 高知市総合計画で示されている施策の取組方針で、基本事項で施策
取組方針 番号を選択すると自動で表示されます。

目的 評価を行うに当たっては、目的を明確に定義する必要があります。目的
(対象) は「対象」と「意図」に分けて考えて、「対象（誰や何を対象にしている
(意図) (意図) (対象をどのような状態にしていくのか)」という観点
から明確な言葉で記入してください。

(2) 2011 高知市総合計画・第2次実施計画の主な数値目標

指標名 第2次実施計画で設定している各施策の数値目標の指標名等を記入し
単位 てください。

実績等 ※ここで記入する指標は、第2次実施計画で設定されているものに限ります。
他の計画等の数値目標は記入しないでください。

5 施策の課題と1次評価

施策の課題と1次評価		
6 施策の現状の課題認識と解決の方策		
課 題	解決の方策	
7 施策所管部局長による1次評価		
評 価	評価の理由	
A：従来の取組を維持し、施策成果を維持する		
B：従来の取組を強化し、施策成果を向上させる		
C：従来の取組を見直し、施策成果を向上させる		
D：施策自体を見直す		

(1) 施策の現状の課題認識と解決の方策

課題

平成27年度高知市民意識調査結果報告書における、各施策に対する重要性や満足度指標及び「各施策の満足度・重要性の相関図」等や、第2次実施計画の主な数値目標及び平成27年度事務事業評価結果などを参考に、施策実施に当たっての資源（人・物・金）などの様々な課題を記入してください。課題認識のためには、現状を的確に把握し、施策の目指す状態とのギャップを明らかにする必要があります。施策が複数の部局にまたがっている場合は、それぞれの部局の取組に応じた施策の現状の課題を記入してください。

- ・市民意識調査結果の満足度・重要度はどうか。
- ・施策の目的を実現するための取組は妥当か。
- ・数値目標は達成できるか。
- ・取組としての事業は妥当か。
- ・各種行政計画・方針等との連携・補完する関係はどうか。

解決の方策

上記の課題に対する解決の方策を記入してください。

(2) 施策所管部長による1次評価

7 施策所管部局長による1次評価

評 価	評価の理由
A：従来の取組を維持し、施策成果を維持する	
B：従来の取組を強化し、施策成果を向上させる	
C：従来の取組を見直し、施策成果を向上させる	
D：施策自体を見直す	

評価

A, B, C, Dの4つの評価項目から選択してください。
評価に当たっては、

- ①「第2次実施計画の施策の数値目標の達成度及び今後の達成見込」
- ②「次年度以降の施策の取組の方向性」

に着眼して行ってください。

①「第2次実施計画の施策の数値目標の達成度及び今後の達成見込」

ア：目標を達成している。又は、目標の達成が見込まれる。

⇒ 評価 A又はB

イ：目標の達成ができていない。又は、目標達成が、困難である。

⇒ 評価 C又はD

次に、②「来年度以降の施策の取組の方向性」の観点から評価する。

②「来年度以降の施策の取組の方向性」

ア：従来の取組の変更は必要なく、施策成果も取組方針に合致している。

⇒ 評価 A

イ：従来の取組を拡大・強化し、施策成果を更に向上させる必要がある。

⇒ 評価 B

ウ：従来の取組の見直し・再構築等を実施した上で、施策成果を更に向上させる必要がある。

⇒ 評価 C

エ：施策の基本的な取組方針を見直す必要がある。

⇒ 評価 D

評価の理由

A, B, C, Dのそれぞれの評価とした理由を明確に記入してください。

6 外部意見

外部意見	
8 外部意見	

評価の結果については、行政改革推進委員会や市議会に対して報告することになりますが、その際、特に意見が出された場合に記入する項目です。施策所管部局での記入は必要ありません。

7 行政改革推進本部会による2次評価（最終評価）

2次評価（最終評価）	
9 行政改革推進本部会による2次評価（最終評価）	
評価	評価結果の理由・コメント及び基本計画への反映・申し送り事項
A：従来の取組を維持し、施策成果を維持する	
B：従来の取組を強化し、施策成果を向上させる	
C：従来の取組を見直し、施策成果を向上させる	
D：施策自体を見直す	

行政改革推進本部会による2次評価（最終評価）の項目です。施策所管部局での記入は必要ありません。